

横須賀港便覧
Port of Yokosuka
2020 & 2021

横須賀市みなと振興部

横須賀港は、慶応元年（1865年）江戸幕府の勘定奉行であった上野守子参勤とフランス人技師フランソワ・ルヴィエ・ヴェルニールが機軸となり製鉄所(造船所)の建設を開始したのがその経緯である。その後、明治7年（1884年）に横浜商船株式會社が設立されて以来、軍港としての発展を遂げてきた。

戦後、横須賀港は、昭和23年（1948年）1月1日に貿易港の指定を受け、昭和25年（1950年）の「旧日本商船航法」の施行によって、横須賀市は「平和貿易重要都市」として新たな歩みを始め、横須賀港は、昭和26年（1951年）1月19日に港湾法の規定により「重要港湾」に、また同年9月22日には「主要特別重要港湾」（国内産業開発・特に重要な港湾）に指定され、その後、昭和28年（1953年）4月1日に横須賀市が港湾管理者となった。

横須賀市の港湾整備は、昭和42年（1967年）9月に策定した横須賀港湾港泊計画に基づき整備を進め、その後、一部変更、改訂を重ねたが、平成17年（2005年）3月に改訂を行い、現在に至っている（行政計画として、平成28年（2016年）3月に改定（一部見直し））。横須賀港は、北の富士地区から南は野比地区まで13の地区に分ち、主な地区の種類は次のとおりである。

①自動車専用地区：造船基地、造船倉庫などとする市街地外の臨海工業団地が形成され、港池取扱貨物は、主に完成自動車や鋼材などが専らで頻りに取り扱われる。

②長浦地区は、かつて軍艦輸入、自動車輸送、捕鯨船基地などと賑わっていたが、現在は、主として砂・砂利、土砂を取り扱うとともに、防衛艦艇が集中集約された。

本港区区は、在日米軍基地及び海上自衛隊横須賀地方総監部をはじめとする自衛隊施設が集中している。

新港区区では、宇奈束引道に対応し、完成自動車の輸出又は輸入（冷凍マヅロ）の輸入、移入が行われるだけでなく、クルーズ船舶の寄港にも利用されている。また、中心市街地の輪出や水産品（冷凍マグロ）の輸入、移入が行われ繁華なこの官公署の移転が完了し、令和3年（2021年）春には、地場産物組合販売所「よすぴかポートマーケット」のリニューアルオープンも予定されており、横須賀港のさらなる活性化が見られる地域である。

平沢地区は、砂利・砂等の建材を扱うほか、背後地に最近ニュータウンとして、事業所、工業施設、つみね公園などの港隣地区、住宅、商業施設が整備され、総合的なまちづくりが進んでいる。

浦賀地区は、かつて造船所があったが、閉鎖された跡地は海洋性リゾートへの転用が図られているとともに、新たな魅力ある港づくりを目指した再開発計画が検討されている。

久里浜地区は、砂利・砂等の建材、廃土・破石、内買貨物取扱港として利用されている。また、千鳥貝漁具金谷港間のフッソー、ゴンドウヱイク及び夏期を除く時期には伊豆諸島帰郷の旅客船定期航路が航行している。なお、当地区は東京湾西部に位置し、船舶の回転する浦清水水道路を過ぎずに利用できる地理的優位性が大きい。

(1) 位置と地質

横須賀港は、神奈川県中央より南東へ突き出した三浦半島の東岸、北緯35度12分～35度19分、東経139度38分～139度45分の東京湾口にあり、東京湾の奥部より中央部へかけて平均水深55m、水深250m以上（最浅36m）に位置している。海岸線は多数の入り江を形成し、水深近くまで水深が深い。背後は高さ50～100m前後の起伏ある丘陵に囲まれ、開口部が狭いことから、天然の良港となっている。港内は堰がやが、湾奥は外海に面した相模湾に比べ、台風時にあっても安全な泊地条件に恵まれ、船舶の出入に適している。

(2) 地質

横須賀市の地質は三浦層群、葉山層群、沖積層を基盤として構成され、岩石は泥岩と砂岩でこれに少量の緑色頁岩を伴っている。港内のおおむね下位の基盤は第3紀三浦層群を基盤とし、これを覆う洪積土の成田層群、最上位の沖積層で示される。横須賀港の海底は、水深10～60m附近に岩盤層があり、その上は粘性土層及び砂層に覆われている。

(3) 風向

風向については、年間を通して北～東北東の風が多く、風速10m/s以上の風も多くなっている。季節別では、春、秋、冬季は北～北東の風が、夏季は南～南西の風が多くなっている。

(4) 潮流

東京湾の潮流は、潮位の昇降によって生じ、遡奥部の流れは弱くほとんどが0.5ノット（0.93km/h）以下であるが、湾口に向かうにつれて徐々に速くなり、観音崎と富津岬の間部附近では1.3～1.8ノット（2.41～3.33km/h）に達する。潮流の向きは、一般に遡奥部では上げ潮期が北～北東、下げ潮期が南～南西、遡奥部では上げ潮期が北～北東、下げ潮期が南～南西となっている。横須賀湾の長瀬～平沢地区附近の潮流は、季節的变化はあるが微弱でほとんどが0.5ノット（0.93km/h）以下である。平沢地区沿岸の潮流は、沖合に比べると海岸や海底地形の影響を受け、流向は海岸線に沿った流れとなっている。浦賀地区の北～北東に流れる、極めて微弱でほとんどが0.3ノット（0.56km/h）以下であり、港口付近の潮流は微弱だが風の影響を受けやすく、概ね上げ潮期は北流し、下げ潮期は南流す。久米沢地区の港内への潮流は、港口の海嶺部と外防波堤との中間海面では、上げ潮期は北～北東に、下げ潮期は南～南西に流れ、流速はそれぞれ約1.5ノット（2.78km/h）、約1.3ノット（2.41km/h）である。

(1) 計画の方針

- 暮らしの豊かさや安心の向上
- 環境政策の充実と推進
- 物流機能の強化と再編
- 活力ある産業空間の形成を柱とし、その内容は次のとおりである。

- 港湾における快適な環境の創出を図る 観光大空間の充実及び地域住民等との交流に寄与する交流空間の形成を図る。
- 地域住民及び観光客等の利便性の向上、横浜貿易港の基幹力に資する内航旅客船ふもろを整備する。
- 東横地区で貴重とせられてきた自然環境や横浜貿易港の歴史・文化を保全するとともに、海域環境の再生を図る。
- 港湾関係企業等の効率的な物流、輸送コストの削減、環境負荷の低減のため、湾口地区における複合一環輸送機能等の整備による物流機能の充実・強化を図る。
- 大規模地震に対処するため、緊急避避港及び緊急泊留港のための耐震性の高いレクリエーション施設を整備する。
- 効率的、安全性、快適性の高い空間を形成するため、陸域350ha、水域5,500haからなる港湾空間を以下のように利用する。
 - 長瀬地区、新港地区、平成地区、久里浜地区は物流関連ゾーンとする
 - 新港地区、平成地区、浦賀地区は交流拠点ゾーンとする
 - 追浜地区は生産ゾーンとする
 - 久里浜地区発電所周辺はエネルギー関連ゾーンとする
 - 深溝地区、長瀬地区、平成地区、大津地区、馬堀地区、浦賀地区は緑地レクリエーションゾーンとする
 - 走水地区、鶴見地区、久里浜地区は船だまり関連ゾーンとする
 - 猿島、走水地区、鶴見地区、久里浜地区、野比地区の海域は自然環境保全ゾーンとする

外貨：300万トン
内貨：2,210万トン
(うちフェリー1,220万トン)
合計：2,510万トン

(3) 港湾施設の規模と配置

裏面地図のとおり

(1) 港 湾 区 域

本港の港法に基づく港湾区域は、横浜須賀島町地先最北端（北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒）の地点、同地点から43度50分2、47分0の地点、同地点から46度30分2、45分0の地点、観音崎灯台（北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒）から90度1、00分0の地点及び同地点から同緯度3度12分43秒、東経139度44分25秒の地点を見通し、7000の地点を順次に結んだ線、から90度1、00分0の地点と北緯35度12分43秒の地点と、その面積は55,250,000㎡であり、海岸線の延長は61、000メートルである。

(2) 港 湾 区 分

港区	面積 (㎡)	港 則 法 に よ る 境 界	停 泊 す べ き 船 舶
----	--------	-----------------	---------------

港区	面積 (㎡)	港 則 法 に よ る 界 界	停 泊 す べ き 船 舶
第1区	1,818, 200	吾妻橋から119度引いた線（以下A線という）。荒三郎ノ鼻から524度引いた線（以下B線という。）及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410, 400	吾妻橋北岸から331度引いた線（以下C線という）。B線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。
第3区	8,925, 300	住友重機ビルディング製造所横須賀造船工場横須賀岸壁南端から東北北の方位は西向きで引いた線、同防波堤、横須賀東岸北防波堤東端から（北緯35度30分東経139度45分58秒）から北緯35度16分30秒東経139度44分58秒の地点まで引いた線、同地点（以下D地点という。）から215度引いた線（以下E線という。）、A線、C線、及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。
第4区	10,086, 900	D地点から0度引いた線（以下F線という。）第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858, 400	横須賀湾内から90度引いた線（以下G線という。）、E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,560, 800	千代ノ場から70度引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590, 000	第1区から第6区までを除いた港域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

a) 泊地		[令和2年(2020年)4月現在]		
種別	地区	名称	面積(m ²)	水深(m)
被覆内	長浦地区(第2区)	長浦2号泊地	293,000	-10.0
	本港地区(第1区)	本港1号泊地	217,000	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀2号泊地	20,250	-5.0
		浦賀3号泊地	101,550	-8.5
		久里浜2号泊地	40,778	-7.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜3号泊地	68,222	-9.0
	追分地区(第3区)	夏島泊地	229,100	-12.0
被覆外	長浦地区(第2区)	長浦1号泊地	102,900	-5.0
	新港地区(第3・5区)	新港泊地	593,700	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀1号泊地	239,130	-6.5
		久里浜1号泊地	476,200	-9.0
	久里浜地区(第7区)	久里浜4号臨時泊地	207,500	-58.0
	第4区(検査船)	港内泊地	6,136,050	-9.0
	計		8,725,180	

区	名 称	面積 (㎡)	水深 (m)
深 浦 地 区 (第2区)	深浦船泊だまり	114, 000	-3.0
	長浦船泊だまり	45, 300	-4.4
長 浦 地 区 (第2区)	田浦船泊だまり	44, 440	-4.4
	長浦の船泊だまり	38, 080	-4.0
本 港 地 区 (第1区)	吉崎船泊だまり	38, 800	-4.0
	吉崎船泊だまり	104, 500	-5.0
平 成 地 区 (第5区)	平成船泊だまり	42, 656	-5.0
	東浦船泊だまり	32, 550	-5.0
浦 賀 地 区 (第6区)	西浦賀1号船泊だまり	14, 960	-2.5
	西浦賀2号船泊だまり	14, 410	-5.0
久 里 浜 地 区 (第7区)	久里浜北船泊だまり	20, 430	-4.5
計		509, 336	

a) 岸壁、橋樑、浮橋 (-4.5m以下)										(令和2年(2020年)4月現在)				
種別	地区	名 称	管理者	延長 (m)	水深 (m)	設計能力 (D/W)	建設 年度	地区	名 称	管理者	延長 (m)	水深 (m)	設計能力 (D/W)	建設 年度
公	追 浜	夏 島 岸 壁	横浜商船	120	-4.5	700	1	追 浜	佐横商船渡船所西岸橋岸壁	佐横商船工務(株)	656	-9.0	305,500/2,000	2
		新港1号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1		佐横商船渡船所西岸岸壁	〃	60	-6.0	700	1
		新港2号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1		海洋研究所発着機橋	〃	220	-8.0	8,680/7	2
		新港3号岸壁	〃	240	-4.5	700	4		海洋研究所発着機橋	〃	435	-12.0	34,000/7	2
		新港4号岸壁	〃	65	-4.5	700	1		日産自動車車橋	〃	90	-13.0	15,000	2
		新港1号橋樑	〃	90	-5.5	2,000	1		日産5号橋樑	〃	250	-5.5	2,000	1
	新 港	新港2号橋樑	〃	90	-5.5	2,000	1		日産6号橋樑	〃	185	-10.0	18,000	1
		新港3号橋樑	〃	130	-7.5	5,000	1							
		平成1号岸壁	〃	120	-4.5	700	2		長 瀬 海上保安部5号浮橋樑	第三区海上保安部	60	-5.0	—	2
		平成2号岸壁	〃	170	-5.5	2,000	3		本 港 本 港1号浮橋樑	(株)トライランフ	38	-4.8	—	2
平 成	平成変型式橋樑	〃	71	-6.5	—	—	新 港 シー ポ ニ ア 浮 橋 樑	(株)エニマルズ ストリーマ	20	-6.7	—	1		
共	久 里 浜	久里浜岸壁	〃	260	-6.5	3,000	2	浦 賀	サニサイドマリナ岸壁	関通サニサイドマリナ	47	-5.0	1,000	1
		久里浜1号岸壁	〃	260	-7.5	16,000/7	1		サニサイドマリナ岸壁	〃	33	-5.0	700	1
		久里浜2号岸壁	〃	80	-5.0	1,000	1		在浦賀工場工場の岸壁	佐横商船工務(株)	50	-5.0	1,000	1
		長 瀬 岸 壁	〃	140	-4.5	700	2		佐 横 浦 賀 工 場 東 岸 岸 壁	〃	545	-6.5	33,000	3
		長 瀬 1 号 橋 樑	〃	26	-6.7	—	—		佐 横 浦 賀 工 場 西 側 岸 壁	〃	60	-5.0	2,000	1
		計		2,322			22							
	その他(米軍・防衛省)		6,049			53								
計								計		3,702		29		
合 計							延 長	12,073 m	船 着 岸	104 處				

施設数と延長			合 計				
施 設 別	施 設 数	延 長(m)	地 区 名	名 称	最大係船能力 (トン)		
公 共 用	物 場	32	※ポートパークを除く	N ₁₀ N ₁₂	800		
	棧 橋	12			800		
	浮 橋	17					
	船 場	13					
	計	74					
専 用	物 場	10	d) ポートパーク (令和2年(2020年)4月現在)	地区名	名称	延長 (m)	係留可能数
	棧 橋	14			491		
	浮 橋	31			1,388		
	船 場	7			321		
	計	62			3,109		
合 計			136	7,098			

※米軍・防衛省含む、ポートパークを除く

※所属船対策事業としてポートパークを整備
※関係会社では同僚、Maris&MBP共同事業体(深浦:04-865-4532、浦賀:04-844-9955)へ

区 分	深溝ポートパーク駐車場	清賀ポートパーク駐車場	うみかぜ公園 駐車場	海辺つり公園駐車場
種 別	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車
台 数	53	12	2182	95
指定管理者	Maris&KMPP共同事業体 046-865-4532	Maris&KMPP共同事業体 046-844-8955	サカタのタマゲリナース（株） 046-826-2899	サカタのタマゲリナース（有） 046-822-4022

所在地		令和2年(2020年)4月現在	
所在地	経営者	面	積(m ²)
郷	横須賀市		1,010
浦深	"		591
長	"		5,989
新	"		17,372
成	"		30,568
西	"		2,919
長	"		17,822
久	"		17,153
計			93,424

所在地	経営者	面積(m ²)
新久里港浜	横須賀市	44,003
	〃	28,349
計		72,352

種 別		名 称	所在地	経 営 者	棟数	総床面積 (㎡)	構 造	
							主 要 用 材	階 数
上屋	公共 専用	新 港 上 屋	新港5丁目	横 須 賀 市 民 間	1	2,312 280	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階
倉庫	専用			民 間	21	50,311		

種	類	給	水	場	所	経	営	者	数	量	備	考
水	栓	長	浦	1	号	物	場	横須賀市	1	栓	□径65ミリ	
"	"	新	港	2	号	機	橋	"	3	栓	"	
"	"	新	港	3	号	機	橋	"	2	栓	"	
"	"	新	港	3	号	岸	壁	"	3	栓	"	
"	"	新	港	1	号	岸	壁	"	4	栓	"	
"	"	新	港	3	号	岸	壁	"	4	栓	"	
"	"	新	港	4	号	岸	壁	"	1	栓	"	
"	"	平	成	2	号	岸	壁	"	3	栓	"	
"	"	浦	賀	物	場			"	2	栓	"	
"	"	久	里	賀	物			"	4	栓	"	
"	"	久	里	1	号	岸	壁	"	1	栓	"	
"	"	久	里	2	号	岸	壁	"	1	栓	"	

海		浜	緑地		その他	
名	称	延長(m)	名	称	面積(m ²)	面積(m ²)
走水	海浜	965	浦郷	みなと緑地	2,715	走水観音崎遊歩道 1,740
観音	海浜	190	新港	地区緑地	8,512	
た	崎海浜	210	うみ	なげ公園	52,506	
			平成	地区緑地	12,433	
			海辺	つり公園	23,148	
			西浦	賀みなと緑地	6,298	
			久重	浜みなと緑地	2,789	

業 界 所		電話番号	港湾運送事業法第4条における港湾運送事業者					
			(令和2年(2020年)4月現在)					
事業名	無定額 無定額	無定額 無定額	無定額 無定額	無定額 無定額	無定額 無定額	無定額 無定額	電話番号	
東京国際環境理工株式会社	○	○	○	○	○	○	04-769-1702	
横浜税関横浜税務支店	○	○	○	○	○	○	04-861-1281	
横浜税務支店 第二出税所	○	○	○	○	○	○	04-701-4456	
横浜税務支店 第三出税所	○	○	○	○	○	○	04-701-4456	
横浜税務支店 (横浜税務支店担当)	○	○	○	○	○	○	04-211-7152	
東京海上保安センター	○	○	○	○	○	○	04-225-9118	
横浜海海上保安部	○	○	○	○	○	○	04-861-8396	
関東地方整備局東京港湾・水路事務所	○	○	○	○	○	○	04-828-8366	
国土交通省国土技術政策総合研究所	○	○	○	○	○	○	04-844-5010	
国土研究開発法人 港湾技術研究所	○	○	○	○	○	○	04-844-5010	
相模運輸倉庫(株)	○	○	○	○	○	○	046-861-3111	
相模倉庫製作業(株)	○	○	○	○	○	○	860-1350	
昌栄産業(株)	○	○	○	○	○	○	835-3330	
相模企業(株)	○	○	○	○	○	○	861-4098	
相模(株)アパック	○	○	○	○	○	○	869-5098	
住商相模倉庫(株)	○	○	○	○	○	○	869-1077	

令和 2 年(2020 年) 4 月現在			
名	所	電 話 番 号	
(公財)海上保安協会横浜支部	横浜市伊豆湾町無番地	046-891-8366	
港湾海上防士会幹事会横浜支部	〃 新港13	826-3363	
(一財)横浜港湾福利厚生協会	〃 新港13	826-3363	
関東海事広域協会横浜支部	〃 新港13	826-3363	
(一財)横浜港防士会・横浜港防士会 船務部	〃 新港13	826-3660	
横浜貨運船主連絡会	〃 新港13	826-3363	
横浜貨港連会	〃 新港13	826-3363	
横浜貨港協会	〃 新港13	826-3363	
横浜貨港通物流協同組合	〃 新港13	826-3363	
横浜貨港東部漁業協同組合	〃 平磯3-4	822-1052	
横浜港・湾・漁業防犯・防犯監視課	〃 平磯 11-15	834-6685	

(1) 入港船舶年次表 (最近5年間)							
年 次	合 計		外 航		内 航		備 考
	隻 数	総 ト ン 数	隻 数	総 ト ン 数	隻 数	総 ト ン 数	
平 成 26 年	15,815	30,153,497	173	3,572,666	15,642	26,580,831	
平 成 27 年	15,327	28,109,013	160	3,315,279	15,167	24,793,734	
平 成 28 年	15,464	28,963,941	178	4,107,830	15,286	25,456,111	
平 成 29 年	15,363	27,957,700	106	2,292,965	15,257	25,844,844	
平 成 30 年	15,409	27,836,659	107	2,467,022	15,302	25,369,457	

年次	計			外 國 貿 易			內 國 貿 易		
	計	輸 入	輸 出	計	輸 入	輸 出	計	輸 入	輸 出
平成 26 年	9,902,387	3,982,389	5,919,998	1,038,115	869,183	168,932	8,864,272	3,113,206	5,751,066
平成 27 年	9,534,332	3,982,959	5,552,073	1,060,372	878,979	181,393	8,473,960	3,103,280	5,370,680
平成 28 年	9,428,866	4,240,964	5,187,896	1,011,116	790,259	220,517	8,417,744	3,450,365	4,967,379
平成 29 年	9,775,207	4,720,328	5,054,879	591,612	443,532	148,080	9,183,595	4,390,744	4,800,799
平成 30 年	10,286,030	4,976,191	5,309,839	726,683	585,447	141,236	9,559,347	4,296,794	5,168,603

地 区 名	計		計		外 国 貿 易		内 国 貿 易		
	計	輸出 移入	計	移入	計	輸出 輸入	計	移出 移入	
計	10,286,030	4,976,191	5,309,839	726,683	585,447	141,236	9,559,347	4,390,744	5,168,603
道 弘 地 区	7,235,159	3,134,198	3,920,971	137,470	4,077	133,393	9,077,689	3,310,111	3,787,578
長 津 地 区	221,055	67,645	153,860	-	-	-	221,505	67,645	153,860
平 泉 地 区	607,262	598,653	10,619	589,213	581,370	7,843	18,049	15,283	2,766
平 成 地 区	175,765	2,799	172,966	-	-	-	175,765	2,799	172,966
久 里 弘 地 区	2,046,339	994,906	1,051,433	-	-	-	2,046,339	994,906	1,051,433

※貨物量は小数量第一位、パーセンテージは小数量第二位で四捨五入しています

計	東	込	上	陸
854, 927	383, 173		471, 754	

全国有数の冷凍マグロ取扱港湾（新港地区）

専用碼頭から船積されている完成自動車（金沢地区）

施 設 名	使 用 料 金	令和2年(2020)4月現在
岸壁・枕木・物揚場	定期船 船舶の総トン数1トンごと 保管24時間までごとに 定期船以外 船舶の総トン数1トンごと 保管24時間までごとに	5円 11円
係 船 浮 橋	総トン数 1,000トン未満の船舶 保管24時間までごとに 総トン数 1,000トン以上 3,000トン未満の船舶 保管24時間までごとに	4,920円 9,850円
上 屋 新 港	専用使用 1㎡までごとに 1月 780円 一般使用 貨物搬入の日から15日まで 1㎡または1トンまでごとに 1日 17円 貨物搬入の日から16日以後 1㎡または1トンまでごとに 1日 35円	
周 さ び き 地	長浦港、浦賀湾及び久里浜港(久里浜1号・長崎) 専用使用 1㎡までごとに 1月 165円 一般使用 貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日 4円 貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日 7円	
野 横 場	新港、平成港及び久里浜港(久里浜2号・3号) 専用使用 1㎡までごとに 1月 170円 一般使用 貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日 6円 貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日 9円 専 用 使 用 1㎡までごとに 1月 170円 一 般 使 用 貨物搬入の日から15日まで 1㎡までごとに 1日 6円 貨物搬入の日から16日以後 1㎡までごとに 1日 9円	
船 船 給 水	5㎡まで 3,850円 5㎡を超える1㎡までごとに 770円 ただし、航務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。	
船 船 給 電	1キロワット1時間までごとに 83円	

※港湾施設の利用については、「横浜貨頭本舗管理事務所」 〒238-0005 横浜市新港町13番地 ☎046-874-9017へ
(船舶保管・船舶給水は ☎046-823-2694へ)

(1) 定期船運賃

a) 東京湾フェリー(株)
 東京湾→浜金富港 自動車等航送運賃(運転手1名の運賃を含む)
 〒239-0393 横須賀市久里浜4-17-20
 ☎046-835-9555

b) (株)トライアングル三笠営業所
 横浜市内小川町29-1
 横浜営業所 ☎046-825-7144

区 分	片 道 (2日間有効)	往 復 (往/回1日間有効)	
軽自動車	660cc・4m未満 乗車用・貨物	3,200円	5,800円(2,600円)
普通車	6.5m未満 乗車用・貨物	4,100円	7,400円(3,300円)
中型車	7.0m未満 乗車用・貨物	6,500円	11,700円(5,200円)
大型車	9.0m未満 乗車用・貨物	8,000円	14,400円(6,400円)
特大車	12.0m未満 乗車用・貨物	11,000円	19,800円(8,800円)
オートバイ	750cc以上	2,550円	4,620円(2,070円)
原付自転車	750cc未満 (125cc未満)	2,100円	3,800円(1,700円)
自 転 車	大人	1,400円	2,530円(1,130円)
	小人	1,000円	1,800円(800円)

旅 客 運 賃

区 分	片 道 (2日間有効)	往 復 (往/回1日間有効)
大人	800円	1,450(650円)
小人	400円	720(320円)

[令和2年(2020年)4月現在]

YOKOSUKA軍港めぐり 旅客運賃

区 分	乗 船 料
大人	1,600円
小 学 生	800円

[令和2年(2020年)4月現在]

艦船在船型で観ることができ YOKOSUKA軍港めぐり
 (本橋地区)

形谷谷川入谷なる車道端ツマリ

ジェット船/片道旅客運賃				※料金の詳細は、直接上掲へ	
区	分	運	賃	基本料金	特別割引料金
区里渡～東京	4,270円	11	3,600～4,400	15,000円/未満	5,000円/未満
区里渡～大島	4,950円			67,700円	63,500円
区里渡～利島	6,300円			101,700円	

[illegible]

港湾管理者 横浜 港湾局	港湾企画課 ☎046-822-8435	(港湾部の課内・船員管理)	横浜貿易みなと振興部 〒238-8550	横浜貿易小川町11番地	
みなと振興局	港湾施設課 ☎046-822-8438	(港湾施設の管理)	横浜貿易港湾3課管理事務所 (港湾施設の使用許可)	☎ 046-822-4000 (代表)	
	港湾整備課 ☎046-874-9017	(横浜貿易新横浜13番地)	☎ 046-822-3210	https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp	
	水産振興課 ☎046-822-8533	(港湾の計画・港湾工事の設計・施工) (漁港の計画・漁港工事の設計・施工) (漁港の計画・漁港工事の設計・施工・漁港施設の管理・次期整備)	上記より「みなと振興部」と検索して下さい。		